

# ふるさとわかまちづくり

## 下室町自治区

### ◆「下室町」の由来

下室町は周囲を山に囲まれた34.6haの周囲を山々に囲まれ、東西を横断する市道沿いに12戸59人が住む小さな自治区です。

区の生い立ちを語る記録は残されていませんが、昔は大島藩（今の足助町大島）に管轄されていたようです。また、力石町は飯田街道、現在の国道153号線沿いにあり、宿場町として栄えました。ほとんどが農業、林業で生計を立てていました。明治22年の町村合併では、他の4村と合併して石下瀬村になり、明治39年に石野村に、そして昭和30年に猿投町、保見村と合併し猿投町になりました。

### ◆石野の里・竹炭の会

「環境にやさしい」まちづくりを目指す活動の一環として「石野の里・竹炭の会」を発足し10年余りが経ちました。自然環境と炭づくりの立地条件にも恵まれた



自治区内の山裾で今日も定年退職した者ばかりの炭焼き仲間が汗をかいています。

主として竹炭・木炭・竹酢・木酢づくりをしています。焼き上げた炭は火力燃料としては勿論のこと水の浄化や脱臭・脱湿等に、また、焼き上げる過程で採取した竹酢・木酢などは農産物の無農薬栽培等にも利用していただき、環境浄化に役立っています。

また、小中学生・老人会の体験学習や出前講座にも協力し、多くの皆さんに喜んでいただき、今後も貢献に努めていきたいと思えます。



ふれあいまつり

## 体験実習風景



竹炭の会工房



町内の氏子中の崇拝神社「神楽社」



農耕用牛馬、家畜の共養碑「善魂碑」



竹炭の会「竹の子炭体験現場」



町内の稀少な自然木「満作」

### 下室町自治区データ

(H20.4現在)

世帯数：12世帯  
：11世帯（昭和52年）  
組数：2組  
面積：0.346Km<sup>2</sup>  
自治区たより：「自治区だより」年4回発行  
回覧：月2回  
防犯灯設置箇所：8箇所  
小学校：東広瀬小学校区  
自治区会館：下室集会所